

たけとんぼ

戸田市立新曽小学校・戸田市立戸田東小学校・戸田市立美女木小学校 「ことばの教室」

4月号

令和6年4月15日発行

「ことばの教室に通ってよかった！」と言える通級指導教室をめざして

戸田市立美女木小学校長 田野 正毅

令和6年度が始まり、子供たちは新しい出会いに不安と期待の入り混じった気持ちで学校生活をスタートさせていると思います。保護者の皆様、日頃より戸田市難聴言語通級指導教室「ことばの教室」への御理解と御協力に感謝いたします。

さて、「ことばの教室」は、戸田市在住の小学生を対象に、ことばやきこえに課題がある子供たちに、課題の改善または克服を目的とする指導を行う「通級指導教室」です。本年度で開設から55年目を迎える「ことばの教室」では、これまでに多くの子供たちが課題の改善を図り、巣立っている学びの場です。

「ことばの教室」では、言葉の指導を専門に担当する教員が、課題改善に向け個別指導を中心に行っています。お子さんの実態を十分に把握し、一人一人の課題に応じた教材を工夫し、保護者・在籍校と連携を密にしながら、指導を進めています。

今年度も、新曽小学校2教室、美女木小学校2教室、戸田東小学校2教室で、以下の6名の教員が指導にあたります。

新曽小学校担当：

美女木小学校担当：

戸田東小学校担当：

戸田市教育委員会や関係機関の指導・援助のもと、市内12校の小学校から通級してくるお子さんが課題の改善や克服を実感し、「ことばの教室に通ってよかった」と思えるような教室をめざします。保護者の皆様、御理解、御協力のほどお願いいたします。



★お願い★

☆持ち物は、児童は「連絡帳、ノート、上履き」です。筆記用具は必要ありません。保護者の方は「保護者証、上履き（スリッパ）」をお持ちください。自家用車の方は、「駐車証（黄色い札）」をフロントガラスの見やすいところに置いてください。

☆風邪等の症状で学校に登校できない場合は、ことばの教室の通級も欠席となります。また、学級閉鎖や学年閉鎖になった場合は、本人は元気であっても、ことばの教室の通級はできません。



構音の誤りについて



「構音の誤り」とは、一般的に「発音の誤り」と言われています。構音の誤りとして代表的なものを2つ紹介します。

①【置換】（おきかえ）

ある音が別の音に置き換わっている発音の誤りです。

例：かさ→かた、ラッパ→ダッパ、せんせい→てんてい、しえんしえい など

②【側音化構音】（そくおんかこうおん）

ある音を言う時だけ（イ列音や「ケ、ゲ」音、サ行音などに多い）舌に力が入り、呼気が横から出てしまうため（図1）、歪（ひず）んだ音になってしまいます。話しづらさや聞きづらさにつながることがあります。

例：ち音→き音に近い息が漏れたような音、
り音→ぎ音に近い息が漏れたような音

（口角や下あごが、横に引かれるという動きが見られることが多い。）

図1



舌に力が入った状態。呼気が横から出て歪（ひず）み音となります。

※舌の力が抜けていると息は中央から出ます。

- 新しく獲得した音に慣れさせるためには、週1回の指導時間のみでは不十分なため、家庭で「慣れるための復習」(家庭学習)をしていく必要があります。
- 家庭学習は、子供と保護者が練習内容を十分に理解できたものの復習です。
- 「ことばの担当者は、正しい音の出し方を教えるだけで、実際に改善するのは本人と保護者である」との認識のもとに、練習に臨んでいただきます。

参考文献:「構音障害の臨床」—改訂第2版— 阿部雅子著

私達ことばの教室担当者一同、日々研鑽を積み、保護者の皆様と協力しながら、さらなる指導力の向上に努めていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

